

## 序 章 遺跡から自然災害を考える…………… 1

発掘された自然災害跡…………… 2

群馬県の火山噴火史…………… 8

県内の火山 8 / 古墳時代以後の主な噴火 11

## 第 1 章 古墳時代の自然災害と遺跡…………… 15

浅間山の噴火と古墳社会の形成…………… 16

伝統的弥生人の暮らし 16 / 古墳時代初めの浅間山噴火 18 / 浅間 C 軽石で被災したムラ 19 / 軽石被害からの復旧 23 / 災害からの復興と古墳社会 25

〈速報〉 甲を着た古墳人の出現…………… 29

〈コラム 1〉 どうして火山灰は認定できるのか…………… 32

榛名山麓の火山災害 (H r i F A)…………… 34

噴火は初夏に始まった 34 / 埋没した田畠 37 / 噴火が洪水を大きくした? 42 / 火山災害を乗り越えて 44

〈コラム 2〉 火山灰に埋もれた古墳…………… 48

〈コラム 3〉 コウノトリの発見…………… 50

黒井峯遺跡と火山災害 (H r i F P)…………… 52

軽石に埋もれたムラ 52 / 榛名山、再び大噴火 53 / 黒井峯ムラの姿 59 / 榛名山噴火以前の景観 63 / 火山災害からの復旧・復興 65

〈コラム 4〉 噴火年代の手掛かり…………… 68

## 第II章

〈コラム5〉 姿を現した古墳時代馬……………72

〈コラム6〉 現代に生かす火山軽石……………74

平安時代の自然災害と遺跡……………77

弘仁の大地震・赤城南麓の地震被害……………78

地震跡の発見78／地震のもたらした被害82／地震発生時期の検証85／復旧跡の  
検証88

弘仁の大地震・国府周辺の地震被害……………90

利根川西岸のムラと地震90／地震と瓦葺き建物92／山王廃寺の被害と復興94／

上野国分寺の被害と復興98／地震跡から学ぶこと104

記録された弘仁の大地震……………105

〈コラム7〉 地震跡の発見……………108

〈コラム8〉 もう一つの被災地・埼玉……………110

〈コラム9〉 度重なる洪水との戦い―群馬県南部中央付近の水田調査から―……………114

平安時代末期の浅間山大噴火……………116

八〇〇年後の大噴火116／史料に見る被災状況120／復旧の様子121

荒廃地の再開発と中世の幕開け……………127

復興の姿をたどる127／新たな開墾のはじまり131

特稿 女堀の再検討……………135

〈コラム10〉 下之宮高俣遺跡―利根川の洪水で埋没した館跡―……………144

### 第三章 江戸時代の自然災害と遺跡

天明三年浅間山の噴火	148
天明三年浅間焼け 148 / 天明泥流に埋もれた川原畑村 東宮遺跡 160 / 洪水と火山灰に埋もれた上福島中町遺跡 167	148
〈コラム11〉 鎌原村	172
〈コラム12〉 洪水がもたらす肥沃な土壌	174
浅間山火山災害からの復旧・復興	176
農地を埋める火山灰、泥流からの復旧 176 / 川原畑村の復興 181	176
前橋城に刻まれた災害の記憶	185
関東の華 前橋城 185 / 前橋城を襲った災害 187	185
古文書に残る浅間山火山災害	192
出版の隆盛と識字率の高さ 192 / 記録された噴火の爪痕 193 / 災害を記録する 195 / 噴火と泥流の被害 196 / 広がる社会不安 199 / 救援から復興へ 200	192
災害考古学から学ぶこと	203
遺跡に残された災害の痕跡 203 / 防災学習の重要性 204 / 未来に伝えること 205	203
群馬県の罹災遺跡年表	206
用語解説	208
引用・主要参考文献一覧	211
写真・挿図・表目次	216
執筆者 222 / 編集協力 223 / 編集関係者 223	223